（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスRoots

公表日　2026年　3月　16日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		利用定員に合わせた指定の基準以上の広さを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4		基準人員に加えて児童指導員等を２名～３名配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	足元のマットの色を変えることで、「静」と「動」の場所の区切りをつけている。また、お子さんの理解の仕方に応じた情報伝達の工夫を行っている。階段の昇降は職員が目を配り、安全面に配慮をしている。	バリアフリーについて、手すりは設置しているが、階段が急であるなど、現状としては、全ての方への配慮には至っていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日清掃を行っている。 パーテーション等を用いて、活動時に不要なおもちゃなどは目隠しをしお子さんが集中できるよう工夫をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		静養スペースを設置し、必要に応じて利用できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		全職員で毎日のミーティングの中で共有を図っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	-			今年度オープンのため、今回より保護者様へ評価表のご協力をお願いしている。 頂いたご意見をもとに、改善を図っていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日のミーティングや必要に応じた会議の中で意見の共有を図っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		第三者による外部評価は現在実施していない。今後 実施を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		全職員毎月、外部研修を受講し支援の質の向上に努めている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援プログラムを作成し、HP上で公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		保護者面談や日々のお子様の様子を踏まえて、計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		毎日のミーティングの中で情報共有や意見交換を図っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	5		個別支援会議で計画書を共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		事業所で独自に作成したアセスメントシートを使用している。	適応行動の状況を客観的に把握するための標準化されたツールの利用についても検討をすすめていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		日ごとのリーダー職員を中心に活動プログラムの立案をおこなっている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		５領域を踏まえ、特定の活動に偏らないよう月間でバランスを考えて計画している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3		計画に基づき、個々の課題に応じた支援と社会性を育む支援の両立を図っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	-			開所から多くの月日が経っていないため。 今後、モニタリングを行っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		活動内容や役割の選択機会を設けるほか、おやつを購入制とし予算内で自分で選べるようにするなど、日常の場面を通して自己決定する力を育てる支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校も交えた担当者会議への出席や、学校見学、日ごろの送迎時などを利用し情報共有に努めている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	適宜、情報共有を図っていく。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	-			移行実績や当面の間の移行予定はまだない。 今後、必要になったら連携を行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	3	1		必要に応じて、スーパーバイズや助言を受ける機会を設けていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		機会があれば、地域のイベント等へ参加をする。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		今後、ご家族に参加して頂けるような研修会などを検討していく。
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時にご説明させていただいている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		対面でのアセスメントの機会を設け、以降の確認を図っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	4		対面にて説明後、ご同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		ご家族と信頼関係を築き、お気軽にご相談いただけるよう努める。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		3		オープンして間もないため、今年度は実施できていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情があった際は真摯に向き合い、早期改善に向けご家族様と協議していく。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		日々の活動記録を専用のアプリでご覧頂けるようにしている。 また、定期的にSNSで発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		お子さんの状況に合わせ、言葉だけでなく絵カードなども活用しながら情報伝達を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアルを作成し、定期的に訓練・研修を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPを策定し、定期的な訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		アセスメントの際に確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		現在、対象となるお子さんがいない。必要がある場合は、医師の指示所に基づく対応を行う。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を作成し、訓練や研修、点検を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	5		取り組みがあった際には、活動記録にて写真付きでご報告している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			